
Museu de Francisco Tavares Proença Júnior

について

フランシスコ・タヴァレス・プロエンサ・ジュニオール博物館 (Museu de Francisco Tavares Proença Júnior) カステロ・ブランコ (Castelo Branco) の街に北側から入ると、印象的なバロック様式の建物が目に飛び込んできます。この建物はグアルダ司教の別荘として建てられ、1771年から1831年の間はカステロ・ブランコ司教が住まいとしていました。玄関に設けられたルネッサンス様式のペディメントには、この館が1596年から1598年にグアルダのヌノ・デ・ノローニャ司教によって建てられたことが記されています。

この館は1971年にフランシスコ・タヴァレス・プロエンサ・ジュニオール博物館へと生まれ変わりました。博物館の名前にもなっている創設者は、科学や芸術に造詣が深く考古学者としても名を知られた人物で、1910年から自分のコレクションを一般に公開していました。

この博物館には、新石器時代や旧石器時代の遺物に加え、重要なローマ時代の碑銘、青銅器時代の巨石、鉄器時代の金の装飾品など、およそ5,000点が展示されています。

所蔵品の中には、この館から寄贈された16世紀から19世紀にかけての絵画、じゅうたん、彫刻なども含まれています。祭服 / 衣装 / カステロ・ブランコの刺繍セクションでは、素晴らしい刺繍の数々が特に目を引きます。

ここを訪れた際には、伝統織物技法セクションの一部となっている地元刺繍工房 / 学校が必見です。伝統織物技法セクションでは、リネンの製作過程を実際に見ることができます。

問い合わせ先

Largo Dr. José Lopes Dias 6000-462 Castelo Branco
電話 : +351 272 344 277
ファックス : +351 272 347 880
Eメール: mftpj@ipmuseus.pt
ウェブサイト : <http://www.imc-ip.pt>

特色とサービス

ガイドツアー

その他の情報

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー (文化欄) をご参照ください。